

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年12月12日

「ドラレコ・ロードマネージャー」が 「第6回インフラメンテナンス大賞」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎）が提供する、自治体向けのAI道路点検支援サービス「ドラレコ・ロードマネージャー」が、「第6回インフラメンテナンス大賞※」において「国土交通省・優秀賞」を受賞しました。

※インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！（国土交通省ページ）

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000286.html

1. インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスにかかる優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化とインフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に、2016年度から実施されています。

・概要HP https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03_award.html

2. ドラレコ・ロードマネージャーについて

三井住友海上の通信機能付きドライブレコーダーが取得する道路映像データと、東京大学発のスタートアップである株式会社アーバンエクステクノロジーズのAI画像分析技術を組み合わせることにより、道路損傷箇所を自動的に検出し、自治体等における道路点検・管理業務を支援するサービスです。これまで30以上の自治体で活用されています。

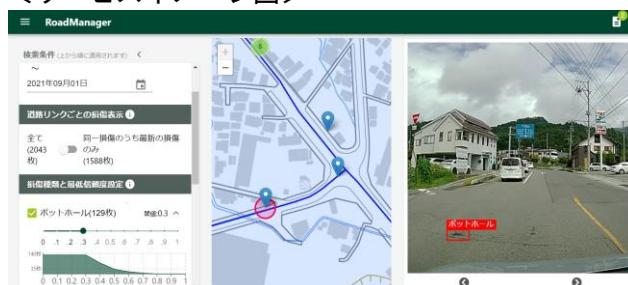
従来の道路の巡視点検においては、自治体の職員による目視確認や高額な点検車両の導入が必要であり、担当者不足や高額なコストといった課題がありました。本サービスでは、当社のドライブレコーダーを搭載して、地域を走行する民間企業の車両を通じて、危険な道路損傷を広範囲かつ自動的に検出するため、交通事故の予防につながります。

デジタル技術を用いて地域企業と自治体とのデータ連携を実現することにより、巡視点検業務の効率化および老朽化が進む道路インフラの品質向上につながる点が評価され、優秀賞の受賞にいたしました。

今後も危険な損傷箇所の早期発見および予防保全の推進を目指し、AIによる損傷（ポットホール）の大きさ推定や損傷発見時のアラート機能など自治体のニーズに合わせた機能拡充により、自治体の道路点検・管理業務の効率化を推進します。さらにはグループ事業会社である、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）が開発する「路面状況把握システム」と連携し、グループ全体でお客さまの利便性向上を目指します。

・サービスHP <https://www.ms-ins.com/business/dr-roadmanager/>

<サービスイメージ図>



<当社ドラレコの走行軌跡イメージ>



以上